



イベントや景観形成による地域のつながりの構築

都市的地域

さんがまき

たかつきし

三箇牧地区農空間保全協議会（大阪府高槻市）

- 当協議会は京都と大阪のほぼ中間、淀川平野に位置する水田を中心とした地域で活動に取り組んでいる。
- これまでも、地域機能増進事業をきっかけに、幹線水路の空き地を利用したポケットパークや緑道を整備する環境保全の活動に取り組んでいた。
- その後、農地・水（現在は多目的機能）の取組を契機として、レンゲやコスモスを活用した景観形成や地域交流イベント、小学校と連携した農業体験、他の活動組織との交流、これらを通じた地域の繋がりの醸成を、より深度化している。

【地区概要】

- ・取組面積 104ha（田100ha、畑 4ha）
- ・資源量 開水路34.5km、農道14.0km
- ・主な構成員
農業者、自治会、老人会、子供会、
小学校、高槻レンゲ振興会 等
- ・交付金 約3百万円（H29）
〔 農地維持支払 〕

地域の活動内容

- 地域の交流の場として、レンゲの里やコスモス栽培の場を一般開放することで、自然のふれあいを求めて訪れる人に好評。
- 環境保全活動として、春に「チューリップフェスタ」、秋には「緑化フェスタ」を毎年開催している。
- 自らのホームページにより地域の紹介を行っている。



農業用水路清掃



レンゲ祭



チューリップの植栽



地域を彩るコスモス

活動の広がり

- 大阪府内の他の活動組織と交流の場を設けることで、情報発信と入手を行い、関係者の意識向上に努めている。
- 小学校へ農業体験の場を提供することで、地元の子ども達に農業について関心を持ってもらう。



小学校連携による
農業体験



他の活動組織との
積極的な情報交換

活動の効果

- 地域の景観に関する意識が向上したことにより、ゴミの不法投棄が無くなった。
- 色々な取組において小学校と連携することで、子どもが参加する機会が増え、子ども達も元気になった。
- 今後は、子ども達が将来農家になってみたいと思えるような取組を行っていききたい。



緑化フェスタ



三箇牧ウォーク



花一杯運動



菜の花観察